

Istanbul Weekly vol.7-no.13

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年4月6日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：第1回優良党臨時党大会が開催、アクシェネル現党首が再選。
アンカラでトルコ・ロシア・イラン三か国首脳サミットが開催。
- 経済**：2017年のGDP成長率、7.2%。
2月の貿易収支赤字、54%増加し57.6億米ドルに。
- 治安**：治安機関がイスタンブールで対ISILオペレーションを実施。
駐トルコ・ロシア大使殺害事件の関係者としてFETO幹部等を拘束。
- 軍事**：「オリーブの枝作戦」により戦闘員3,820名を無力化。
- 社会**：淡水魚の禁漁始まる。

政治

【内政】

●エルドアン大統領、精神的苦痛によりクルチダルオール CHP を起訴

3月27日、クルチダルオール CHP 党首が、エルドアン大統領は FETO と政治的繋がりがある等発言したことを受け、同日、エルドアン大統領は、クルチダルオール CHP 党首を告訴した。エルドアン大統領の顧問弁護士は、FETO と闘う人を不当に非難することは FETO の戦略そのものであると批判した。(3月30日付 M 紙 18 面)

●第1回優良党臨時党大会が開催、アクシェネル現党首が再選

1日、アンカラで、第1回優良党臨時党大会が開催され、現職のアクシェネル優良党党首が再選。党執行部メンバーも新たに選出された。アクシェネル優良党党首は、同党大会で、エルドアン政権の恐怖の壁を取り壊していくと述べた。一方で、同党大会には、およそ3万人が参加したにも拘わらず、テレビ放送局1局のみが同党大会の様子を中継したことが注目された。(4月2日付 Cumhuriyet 紙 2 面)



(写真は、4月1日付 H 紙インターネット版より)

【外交】

●ユルドゥルム首相、ボスニア・ヘルツェゴビナを訪問

3月29日、ユルドゥルム首相は、訪問先のボスニア・ヘルツェゴビナでズビズディッチ閣僚評議会議長と会談を実施した。会

談後の記者会見で、ユルドゥルム首相は、ズビズディッチ閣僚評議会議長に対し、クーデター未遂事件での同国の支援への謝意を表した。(3月30日付 M 紙 18 面)



(写真は、3月30日付 M 紙インターネット版より)

●エルドアン大統領、マクロン仏大統領の「仲介」発言に反発

3月29日、マクロン仏大統領は、シリア民主軍の代表団と会談した後、トルコとシリア民主軍の仲介を提案した。しかし、翌30日、エルドアン大統領は、「トルコは仲介を必要としない。」と述べつつ、マクロン仏大統領に、身の丈に合わない仕事をすべきでないと強い調子で反発を示した。(3月31日付 H 紙 22 面)

●エルドアン大統領、コソボ首相を批判

3月29日、コソボの国家情報庁が対 FETO オペレーションで、国内の FETO 構成員を国外退去後、ハラディナイ・コソボ首相は、同オペレーションの知らせを受けていなかったとして、国家情報庁長官及びコソボ内相を免職した。これに対し、3月31日、エルドアン大統領は、ハラディナイ・コソボ首相に対し、「お前は誰の命令でこのような措置を講じたのだ」と批判した。(4月1日付 M 紙 16 面)

●エルドアン大統領、ネタニヤフ・イスラエル首相を強く非難

3月30日、パレスチナのガザ地区で発生したパレスチナ人とイスラエル軍の衝突を受け、4月1日、エルドアン大統領は、イスラエルはテロ国家であり、イスラエル軍がどれほど無慈悲かは自分が説明するまでもないと述べた上で、ネタニヤフ・イスラエル首相に対し、「お前は非常にひ弱で憐れである」と強く非難した。(4月2日付 M 紙 14 面)

●エルドアン大統領、プーチン露大統領と会談

3日、エルドアン大統領は、同日アンカラで実施されるトルコ・ロシア・イラン三か国首脳サミットのためにトルコを訪問したプーチン露大統領と会談を実施した。同会談では、主にシリア問題について協議されたほか、投資やスポーツ分野など4件の協定に署名された。また、両首脳は、ロシアがトルコにS-400ミサイル防衛システムを当初の予定より前倒して引き渡すことに合意した。(4月4日付H紙15面)



(写真は、4月3日付M紙インターネット版より)

●アンカラでトルコ・ロシア・イラン三か国首脳サミットが開催

4日、エルドアン大統領、プーチン露大統領及びローハニ・イラン大統領は、アンカラで三か国首脳サミットを開催した。サミットでは、主にシリア問題における政治的解決に向けた協力等が協議された。三か国首脳は、シリアにおけるテロとの闘いでの連携や、東ゲータを始めとしたシリアにおける人道支援拡大及びシリアの領土の一体性の確保を目指すなどの点で合意した。(4月5日付M紙15面)



(写真は、4月4日付NTVインターネット版より)

経済

【マクロ経済】

●2017年のGDP成長率、7.2%

ロイターの調査によると、2017年のトルコのGDP成長率は7.2%と、2013年以来最大の成長率を記録した。また、トルコ統計庁(TUIK)の発表によると、2017年第4四半期のGDPは、対前年同期比で1.8%増加した。加えて、第3四半期のGDP成長率も同11.1%から11.3%増に上方修正された。(3月30日付HDN紙1面及び10面)

●2月の貿易収支赤字、54%増加

トルコ統計庁(TUIK)の発表によると、2月のトルコの貿易収支赤字は57.6億米ドルに上り、対前年同月比で54.2%悪化した。2月の輸入額は189.4億米ドルで、同9%増。トルコの最大の輸入先国は中国で、18.6億米ドル相当。それにロシア(18.1億米ドル)、ドイツ(16.6億米ドル)が続いた。(3月30日付HDN紙インターネット版)

●ホテルの客室稼働率及び客室平均単価、上昇

トルコ宿泊業者協会(TUROB)は3月29日、2月の客室稼働率は対前年同月比23.5%増の62.5%だったと発表。また、客室平均単価も同1.9%上昇し57.4ユーロだった。バユンドウルTUROB会長は、客室平均単価の上昇の背景には会議やビジネスイベントの回復があるとした。(3月30日付HDN紙インターネット版)



(写真は、3月30日付HDN紙インターネット版より)

●3月の輸出、過去最高記録

1日、トルコ輸出業者評議会(TIM)は、過去12か月の輸出額は対前年同期比10.5%増の1,600億米ドルに上ったと発表。また、3月の輸出額は史上最高の151.06億米ドルで、対前年同月比10.5%増となった。国別に見ると、ロシアへの輸出額が同58.2%増加しほか、スペイン(23.8%)、英(19.1%)、イタリア(18.1%)、独(13.6%)、の増加であった。(4月2日付HDN紙1面及び10面)

●製造業、13か月連続で生産拡大

イスタンブール工業会議所(ISO)及びIHSマーケットが発表する製造業購買担当者指数は先月の55.6から低下し51.8となったが、拡大と縮小の分水嶺である50以上の水準は維持した。好調な内外需により雇用は改善するも、原材料価格のコスト高が負担となっている。(4月3日付HDN紙10面)

●3月の貿易赤字、58億米ドルに

2日、税関・貿易省の発表によると、13か月連続で製造業の活動は拡大しているにもかかわらず、3月の貿易赤字は対前年同月比28%増の58億米ドルになったと発表。輸出額は過去最高額であったが、輸入額は同12.8%増の214億米ドルであった。(4月3日付HDN紙1面)

●3月の年間インフレ率、10.23%

3日付のトルコ統計庁(TUIK)の発表によると、3月の消費者物価指数は対前年同月比10.23%の増加となり、対前月比では0.03%減少したものの、二桁台となった。年間インフレ率として最も上昇が見られたのは家具・家庭用品の15.41%、交通輸送の13.41%が続いた。(4月4日付HDN紙10面)

【金融】

●イスラム開発銀行、科学財団に5億ドル

3日、イスラム開発銀行(IDB)は、イスラム世界の科学技術振興のため、5億ドルを供出して財団を設立すると発表した。IDBの57加盟国における科学技術の振興を目的とする。(4月5日付HDN紙11面)

【自動車】

●トルコの自動車販売数、第1四半期で5.5%増

3日付の自動車販売業者協会(ODD)の発表によると、今年第1四半期のトルコの自動車販売数は、対前年同期比5.5%増加の122,310台となった。ODDは2018年の自動車販売数は97.5万台に達すると見込んでいる。(4月4日付HDN紙10面)

【ロシアへのトマト輸出】

●ロシア、トルコのトマト輸入で2業者追加指定

3月28日、ロシアはトルコのトマト輸出業者を2つ追加で指定した。これまでは12業者がロシアへの輸出業者として指定されていた。ゼイベキジ経済相は3月19日、「輸出業者の制限に断固として反対である。必要であれば、我々も同じ措置を行い、業者指定による輸入をすることもできる」と発言していた。(3月30日付HDN紙11面)

【エネルギー】**●トルコ初の原子炉建屋、建設開始**

2日、トルコの TAEK 原子力総局は露のロスアトムにアックユ原発の建設許可を交付した。翌3日、メルシンにおいてトルコ初の原子力発電所の起工式が行われ、エルドアン大統領とプーチン大統領はビデオ通話を通じてアンカラから参加。エルドアン大統領は長距離 S-400 ミサイル防空システムやトルコ・ストリームを通じた天然ガスの輸入等にも触れながら、ロシアとの関係の重要性を強調した。(4月3日付 HDN 紙インターネット版及び4日付 HDN 紙1面)

治安**【ISIL 関係】****●治安機関がイスタンブールで対 ISIL オペレーションを実施**

3月16日、治安機関は、イスタンブール市ファーティヒ、アヴジユラル、チャタルジャ、カドキョイ、ウムラニエの各区において、国外居住のメンバーに武器を送っていた ISIL セルに対するオペレーションを実施し、容疑者2名を拘束するとともに、ショットガン1丁、弾薬多数、無線機、盗聴器探知器、多額の外貨等を押収した。(4月5日付 S 紙インターネット版他)



(写真は、4月5日付ソズジユ紙インターネット版より)

【FETO 関係】**●駐トルコ・ロシア大使殺害事件の関係者として FETO 幹部等を拘束**

2日、検察庁は、2016年の駐トルコ・ロシア大使殺害事件に関し、ギュレン師を含む容疑者8名の逮捕状を発布した。5日、治安当局は、同事件の関係者として元公務員や FETO 幹部を拘束した。容疑者は、FETO の通信アプリ「バイロック」を利用していた。(4月5日付 HDN インターネット版)

【その他】**●過去3か月間で薬物容疑者2,032名を逮捕**

治安機関は、過去3か月間でトルコ南東部及び東部において1,000回以上の薬物対策オペレーションを実施し、容疑者2,038名、錠剤9,000個、モルヒネ10キロ、無水酢酸550リットルを押収した。(3月31日付 S 紙インターネット版)

●軍が不法入国者及び不法出国者併せて約900名を拘束

1日、トルコ軍の発表によれば、シリアからの不法入国者641名、イランからの不法入国者123名、ギリシャへの不法出国者135名が拘束された。イランからの不法入国者の摘発に際しては、違法薬物111キロも押収された。(4月4日付 HDN 紙2面)

軍事**●「オリーブの枝作戦」により戦闘員3,820名を無力化**

3月31日、トルコ軍の発表によれば、「オリーブの枝作戦」が開始されてから、武装勢力の戦闘員3,820名が無力化され、トルコ兵52名が殉職、22名が負傷した。また、3月24日からの1週間で、イラク北部のビトリス県とビンギョル県において PKK

戦闘員90名以上が無力化された。(3月31日付 HDN インターネット版)



(写真は、3月31日付 HDN インターネット版より)

●アンカラで兵士52名が食中毒により病院へ搬送

3月30日、アンカラに駐留する兵士52名が腹痛や吐き気により病院へ搬送された。軍基地での食中毒は、2017年にもマニサ県で2回発生している。(3月31日付 HDN インターネット版)



(写真は、3月31日付 HDN インターネット版より)

●トルコ軍がシリア・イドリブに8箇所目の停戦監視所を設置

3日、トルコ軍は、2017年12月のアスタナ会合における合意に基づいて、シリアのイドリブに8箇所目の停戦監視所を設置したと発表した。(4月4日付 HDN インターネット版)

社会**●自閉症理解のため青色のライトアップ**

国連が制定する「世界自閉症啓発デー」の2日、イスタンブールを始め、トルコ各地で多くの建物が自閉症への理解を求める活動のシンボル・カラーである青色にライトアップされた。イスタンブールでは「7月15日殉死者橋」や「ファーティヒ・スルタン・メフメット大橋」、「ガラタ塔」などが対象。(4月2日付 HT 紙5面)



(写真は、4月2日付 HT 紙インターネット版より)

●淡水魚の禁漁始まる

1日からトルコ全土で淡水魚の禁漁が始まった。コイ、ナマズを始めとする淡水に生育する魚類は7月1日まで捕獲が禁止され、違反した場合には罰金が科せられる。(4月2日付 HT 紙5面)

●タクシム・モスク 85%完成

タクシム広場で1年前から建設されているタクシム・モスクは、ドーム部分を残し約85%が完成し、基礎工事は来週にも終了する。ラマダン月には同モスクでの礼拝ができる状態になる予定。(4月2日付 HT 紙13面)



(写真は、4月1日付 HT 紙インターネット版より)

●**ゲブゼ・ハルカル間を結ぶ鉄道の一部が試運転を開始**

アジア側のゲブゼとヨーロッパ側のハルカル間を結ぶ鉄道の完成が間近。完成すればゲブゼとハルカル間の76キロを105分で結ぶ。同鉄道は、今年末に開通予定。(4月3日付 HT 紙13面)

●**第13回チューリップ・フェスティバル始まる**

1日、第13回目のチューリップ・フェスティバルが始まった。3日にエミルギャン森林公園で開催された開会式には、シャーヒン・イスタンブール県知事、ウイサル・イスタンブール市長も参加。市内に植えられたチューリップの球根数は3千万個。11日にはスルタンアフメットにある広場で1,734平方メートルのチューリップの絨毯ができる。同フェスティバルは30日まで開催される。(4月4日付 HT 紙22面)



(写真は4月4日付 HT 紙インターネット版より)

●**化学物質投棄で住人も避難**

ブクチェクメジェ区の空き地で羊9頭を始め10羽以上の鶏が死亡したことが判明した。不法投棄された化学物質が原因とみられ、現場にトルコ首相府災害緊急事態対応庁(AFAD)と都市環境局の作業員が出動し、一帯が隔離された。調査によると投棄されていたのはシアン化水素で、近隣住人も一時避難した。(4月5日付 H 紙6面)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DHMI	国家航空局	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	国民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家債発行	YOK	トルコ高等教育評議会
MUSIAD	トルコ独立産業者・実業家協会	YSK	選挙高等委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
A	Aksam	HDN	Hürriyet Daily News
AA	Anadolu News Agency	HT	Haberturk
AFP	Agence France Presse	IA	Inhlas News Agency
Cumhuriyet	Cumhuriyet	JP	Interpress
D	Dünya	M	Milliyet
DA	Doğan News Agency	P	Posta
DS	Daily Sabah	S	Sabah
H	Hürriyet	V	Vatan

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB: http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook: <http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.4.5 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	5件	0件	0件	0件	8件	1件	2件

★当館 HP 更新のお知らせ★

●第12回日本国際漫画賞の募集を開始しました(外務省HP)(04/04) **NEW**

●チャナックカレ・オンセキズ・マルト大学「日本デー」開催(報告)(04/03) **NEW**